

# 当院における高齢者胃癌に対する術後補助化学療法の治療成績

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、第79回日本消化器外科学会総会にて医学研究として発表いたします。対象となる患者さんでご自身の診療情報の研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

研究期間：2010年1月～倫理委員会承認日～2026年3月31日

## 【研究の目的・意義】

胃癌の根治切除後の診断が、pStage II/III胃癌に対しては、術後の再発を抑制するために術後補助化学療法を行うことが推奨されています。しかしながら、高齢の高齢者における術後補助化学療法の治療成績については、一定の見解が得られていないのが現状です。今回高齢の進行胃癌手術を受けられた患者さんの術後補助化学療法の実施状況と治療成績について、既に確認された情報を用いて検討したいと考えています。追加での採血や画像検査等はありません。

## 【対象となる方】

2010年1月から2024年12月までの間に当院で胃癌に対して胃切除を行った胃癌の患者さんを対象とします。pStageIIまたはIIIの患者さんの治療成績について検討します。

## 【研究機関名及び研究責任者（情報の管理について責任を有する者）】

りんくう総合医療センター 消化器外科 古川 陽菜

## 【調査項目】

患者背景、腫瘍学的因子、後補助化学療法の実施状況、治療成績、予後

## 【個人情報の保護】

この研究に関わって収集される情報・データ等は、個人情報を守秘し慎重に取り扱います。患者さんのお名前など個人を特定できる情報が明らかになることはありませんのでご安心ください。また、この研究以外に用いることはありません。

この研究について、わからないことや聞きたいこと、何か心配なことがありましたら、お気軽に下記の連絡先までお問い合わせください。

## 【問い合わせ先】

りんくう総合医療センター 消化器外科 古川 陽菜

泉佐野市りんくう往来北2-23 電話：072-469-3111 FAX：072-469-7929